

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

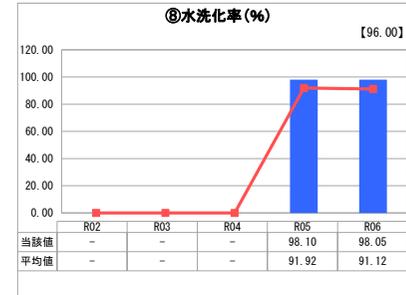
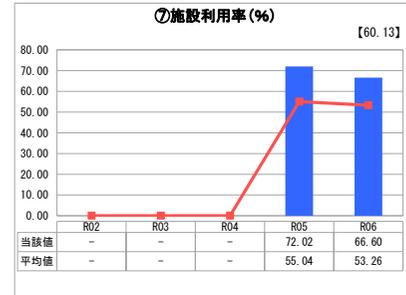
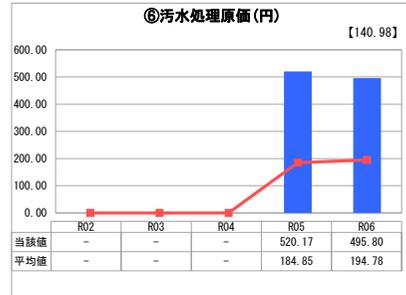
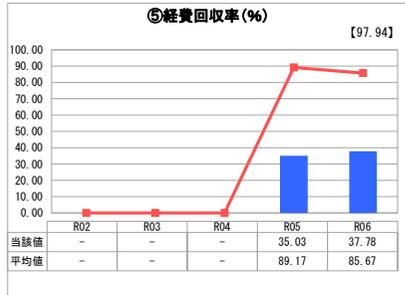
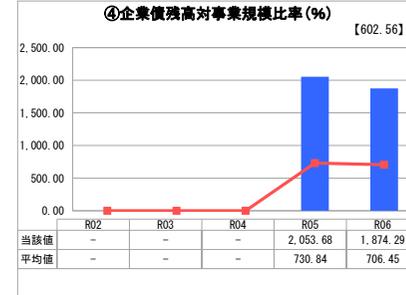
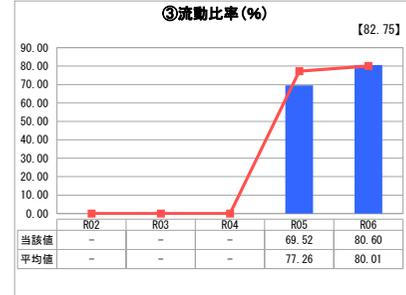
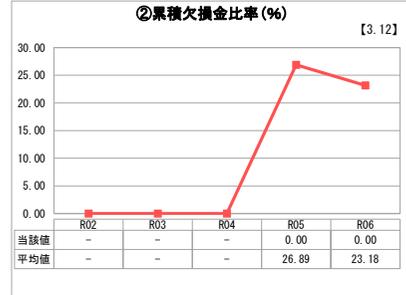
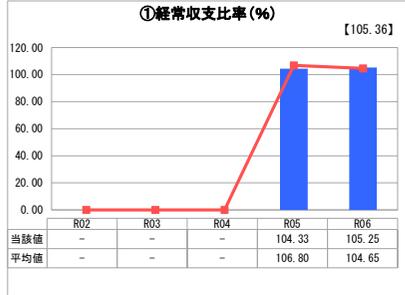
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	61.88	71.20	57.23	3,115

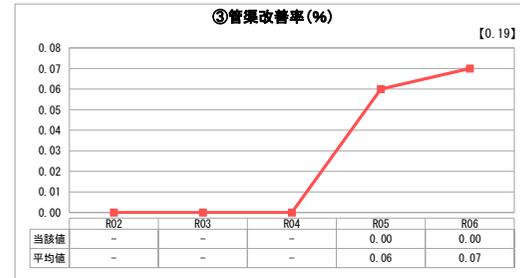
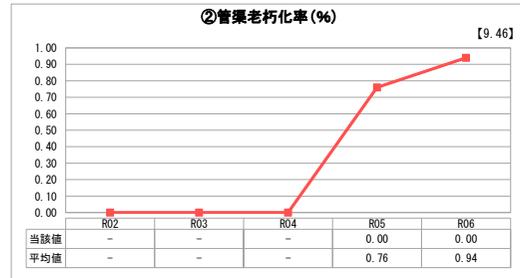
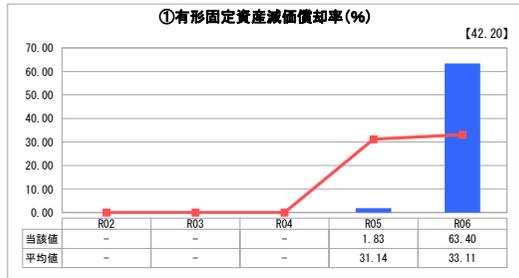
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,871	144.21	89.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,091	6.14	1,480.62

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率について低い状態であるが、その要因として処理場更新工事の設計や管路調査等を行い支出が増加したためである。また、不明水の流入が多く有収率が低いことも要因の一つである。汚水処理原価についても同様に維持管理費の増加により高額となっている。類似団体と比較しても、高い水準となっており、今後もさらなる適正な維持管理に努める。  
施設利用率については、類似団体と比較して高い水準であるが、人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。  
水洗化率については、ほぼエリア全域に普及しているが、一部未接続があり、さらなる普及促進に努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

管渠の改善率については、近年、管渠修繕の実施がないが、管路調査等を実施しており、調査結果を基に今後はストックマネジメント計画をもとに管渠の更新に取り組んでいく。

## 全体総括

経営の健全化に向けて、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、適正な料金改定を進める必要がある。また、施設の老朽化に備え、処理場施設や管渠等の計画的な更新を進め、健全な事業運営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

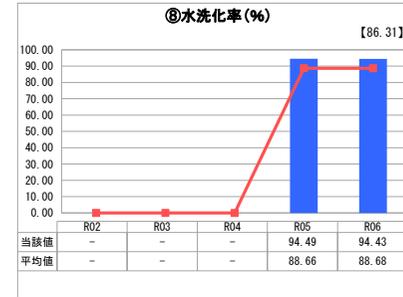
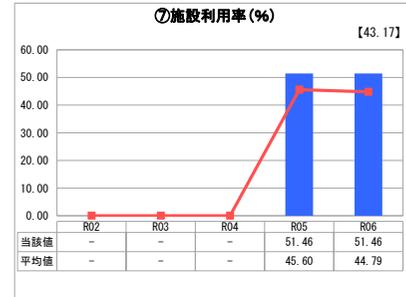
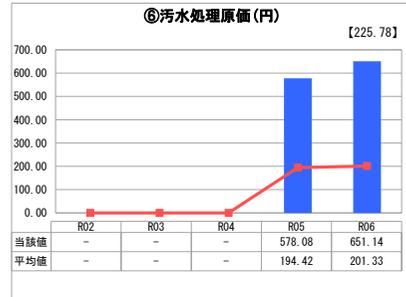
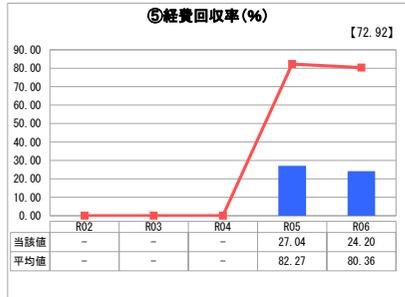
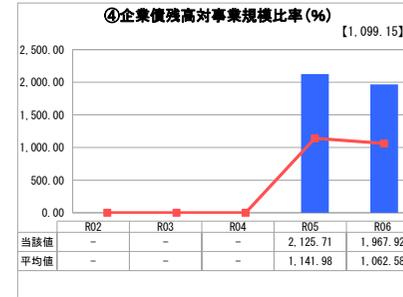
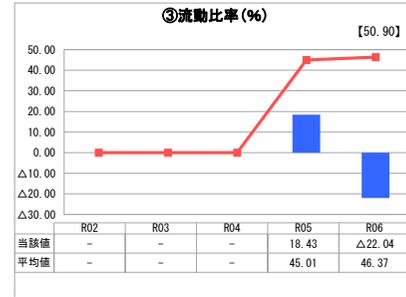
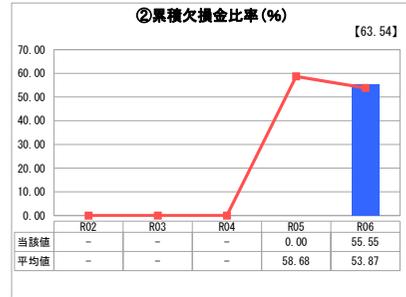
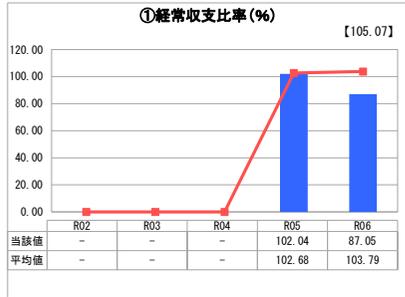
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	73.03	23.20	72.81	3,115

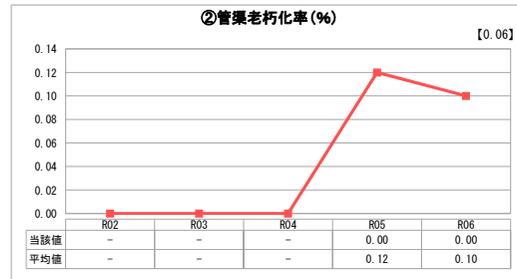
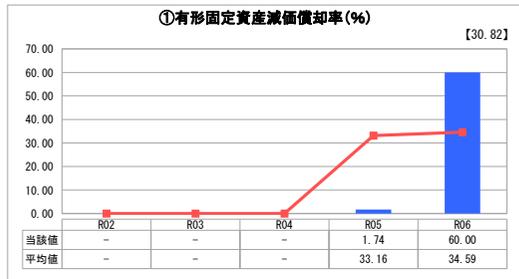
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,871	144.21	89.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,962	1.85	1,601.08

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

流動比率がマイナスである要因として、会計上の予算の振り分けによるものである。  
 経費回収率については、維持管理費（修繕費）の増加により低くなっている。適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努める必要がある。  
 汚水処理原価については、老朽化による修繕費が増加したことによる増加が見受けられる。今後さらなる適正な維持管理に努めるとともに、下水接続率の向上に取り組む必要がある。  
 施設利用率については、今後も人口減少に伴う施設規模の適正化を検討する必要がある。  
 水洗化率については、ほぼエリア全域に普及しているが、一部未接続があり、さらなる普及促進に努めていきたい。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年では管渠の更新等の実績がありません。今後においては、管路調査を実施し状況を確認するとともに、管渠の更新計画の策定を実施し、長期的な視点で検討する必要があります。

## 全体総括

経営の健全化に向け、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、料金の適正な設定及び改定を検討する必要がある。なお、施設の老朽化による改築更新等に備え、処理場、管渠等の長期的な更新計画の策定を行う。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

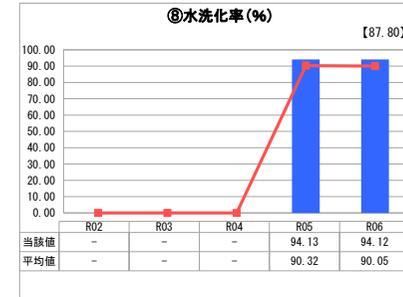
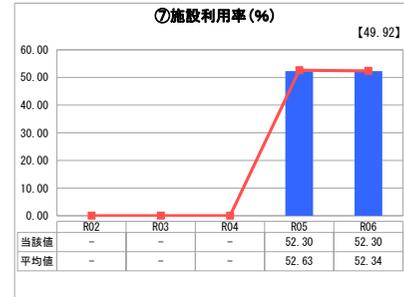
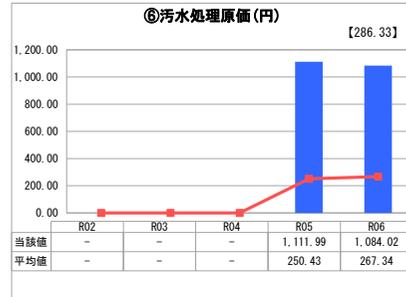
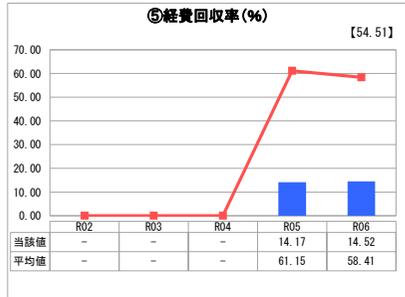
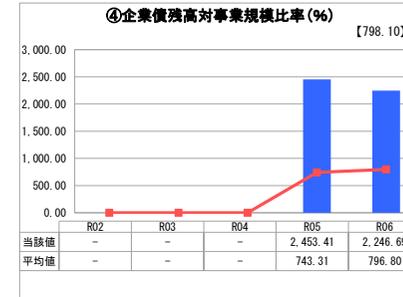
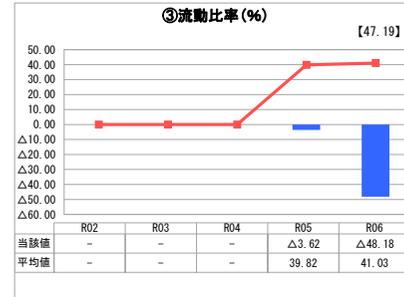
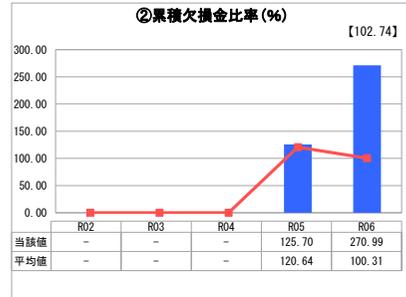
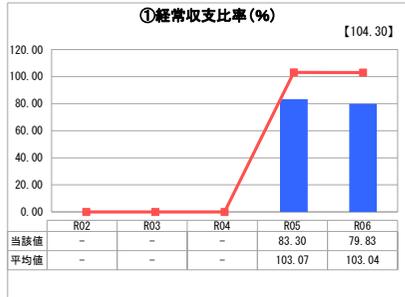
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	79.01	4.53	100.00	3,115

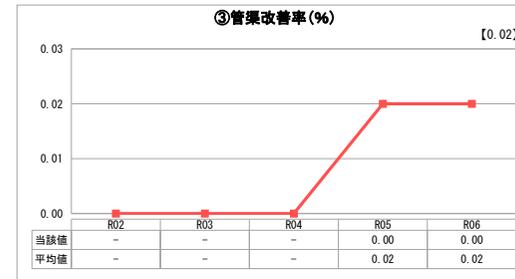
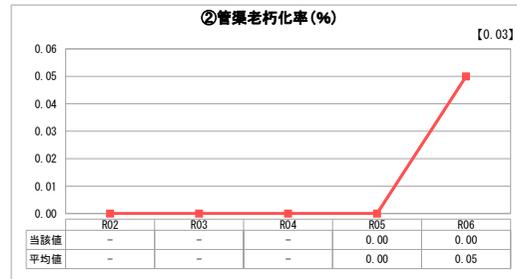
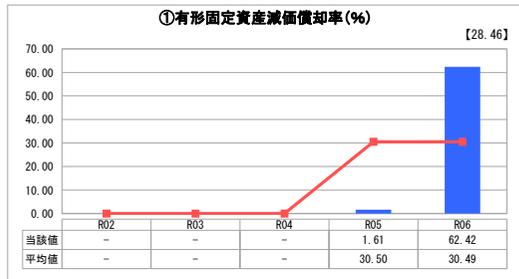
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,871	144.21	89.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
578	0.34	1,700.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

流動比率がマイナスである要因は会計上の振り分けによるものである。  
 経常収支比率については、類似団体平均値を下回っているため、使用料収入の見直しや適正な維持管理に努めていく。  
 経費回収率や汚水処理原価については、減価償却費が要因となっており、今後も現在と同様に推移していくことが予想されるが、中でも維持管理のスリム化を図り、経費削減に努めていく。  
 施設利用率については、人口減少による流入量の低下が見込まれるため、施設の統廃合も含め今後も検討していく必要がある。  
 水洗化率については、概ねエリア全域に普及しており、早期から下水道事業への取組みをしていることもあって、類似団体と比較しても高い水洗化率となっている。

### 2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年更新等の実績はありません。今後、更新計画を策定し、長期的な視点で検討する必要がある。

## 全体総括

経営の健全性に向け、使用料の適正設定及び、一層の維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。  
 また、施設の老朽化や人口減少による改築更新等に備え、処理場・管渠等の長期的な更新計画を策定、また、施設の統廃合も検討し、健全な事業運営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

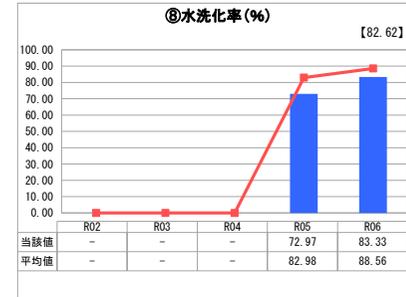
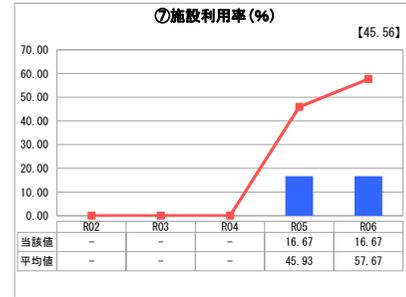
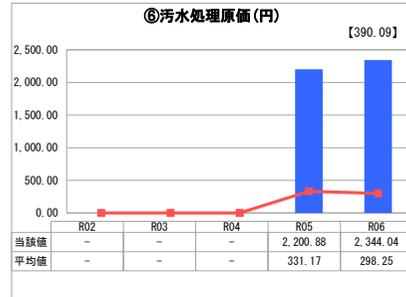
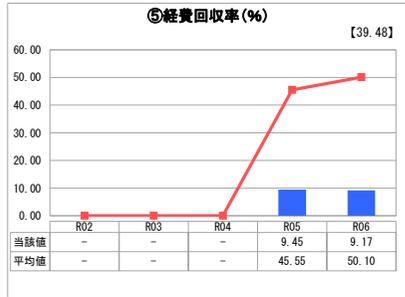
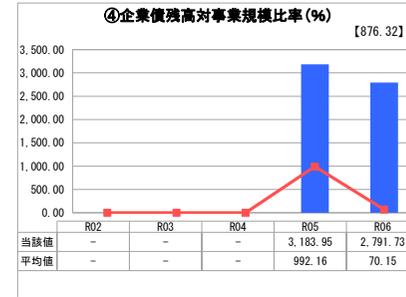
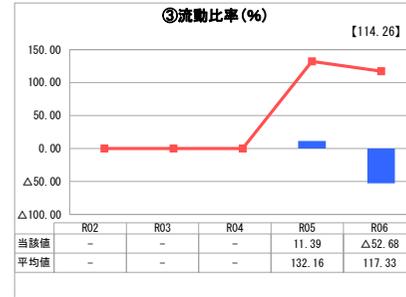
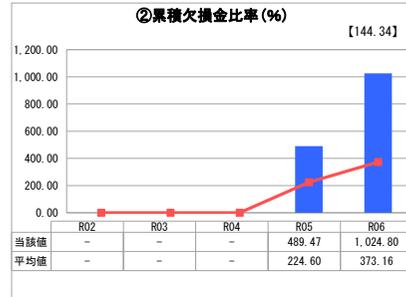
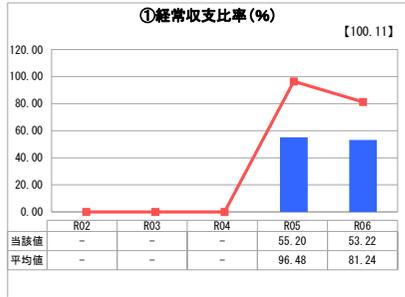
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	△23.09	0.28	100.00	3,115

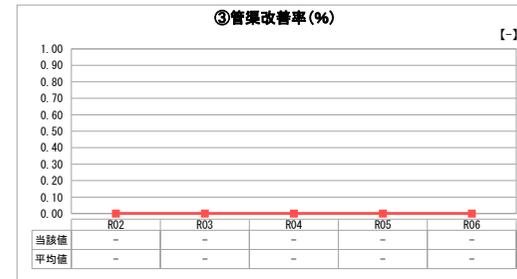
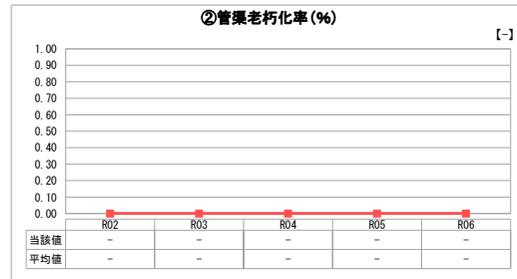
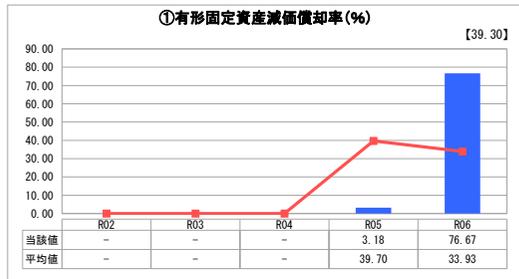
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,871	144.21	89.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
36	0.01	3,600.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

流動比率がマイナスである要因について会計上の振り分けによるものである。経常収支比率は、使用料以外の収入に依存しているため、経費回収率の向上を図る必要がある。また、経費回収率については、使用基数による収入に対し、維持管理に対する委託料が上回っていることにより低い水準となっている。使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努める必要がある。汚水処理原価については、類似団体より高い水準であり、規模に応じた適正な運営により維持管理費の削減に努める必要がある。施設利用率については、処理区域内人口が極めて少ないので、人口の減少による影響が非常に大きくなる。人口に応じた、施設規模の適正化を図る必要がある。水洗化率については、設置家屋の不在等人口の減少により低下がみられる。

### 2. 老朽化の状況について

浄化槽であるため、管渠の老朽化はありません。

### 全体総括

経営の健全化に向け、現在の規模に応じて維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。また、料金の適正な設定を行うことで、経営の健全性を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。